

<p>科目名：在宅口腔健康管理</p>		<p>必修</p>	<p>1単位(45時間)</p>	
<p>(Oral health management for the elderly at home)</p>				
<p>履修年次/時期：3年次 前期</p>		<p>授業形態：講義,実習</p>		
<p>主担当教員：宮城 敦</p>				
<p>主担当教員詳細：実務経験 歯科医師50年：障害者および高齢者に対する実務経験から高齢者・障害者に共感して、歯科衛生士としての対応が身につけられるように授業・実習を進めていく</p>				
<p>担当教員名：山本 裕子, 小堀 陽子, 今泉 うの, 黒田 英孝</p>				
<p>学修目的</p>	<p>介護を要する老年期にある対象や障害を有する対象の特徴を理解すると共に、口腔衛生管理における介護の方法や基本的な介護技術について、安全で安楽に実践するための知識・技術および態度を習得する。</p>			
	<p>関連するCP：CP2,CP3,CP6</p>	<p>科目No. S3C12H05</p>		
<p>この科目が目的としているDP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p>	<p>(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</p>	<p>○</p>	
	<p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p>	<p>(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。</p>	<p>○</p>	
	<p>3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。</p>	<p>(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</p>	<p>◎</p>	
	<p>◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP</p>			
	<p>到達目標</p>	<p>① 高齢者の基礎的知識である身体的・精神的・社会的特徴を理解し説明できる。 ② 障害者の基礎的知識である身体的・精神的・社会的特徴を理解し説明できる。 ③ 日常生活に必要な基本的介護技術を習得する。 ④ 摂食嚥下機能の評価方法を学び、その機能を維持・増進するリハビリテーションや口腔機能管理方法を習得する。 ⑤ 要介護者や障害者に適した食物形態や必要栄養量について説明できる。 ⑥ 緊急時に必要なバイタルサインの測定法や救急蘇生法について習得する。</p>		
<p>授業概要</p>	<p>介護や療養の場における老年期にある対象者や疾病・障がい有する対象者の全身状態の特徴を理解すると共に、歯科治療における介護の方法や基本的な介護技術を、安全安楽に実践するための知識・技術を習得する。さらに口腔の健康管理を通して対象者のQOL維持向上に貢献できる基本の知識・技術・態度を習得する。また医科歯科連携や多職種連携システムの中で歯科衛生士の業務を遂行し、他の職種と協働できる態度を養う。</p>			
<p>評価方法</p>	<p>レポート等提出物および実習への参加度(60%) 学期末試験(40%) 試験に対するフィードバックは掲示で行う。</p>			
<p>予習・復習時間</p>	<p>【予習】1.3時間 【復習】1.3時間</p>			
<p>教科書</p>	<p>A「イラスト図解 いちばんわかりやすい介護術」永岡書店 B「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版」医歯薬出版</p>			
<p>参考書</p>	<p>「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科」医歯薬出版 「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」永末書店</p>			
<p>オフィスアワー連絡先</p>	<p>宮城 敦 月 16:00～17:00 miyagi@kdu.ac.jp メールにて連絡ください 山本裕子 月～金 16:20～17:00 3号館2階研究室 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp 小堀陽子 月～金 16:40～17:00 3号館2階教員研究室 kobori@kdu.ac.jp 今泉うの 月～金 17:00～18:00 附属病院9階医局 imaizumi@kdu.ac.jp 黒田英孝 月火、木金 17:00～18:00 附属病院9階医局 kuroda@kdu.ac.jp *各教員、事前にメールをいただくと確実に対応可能です。</p>			

実施回	第1回	実施日	2026/04/13	時限	3	班	
授業計画	実習の概要説明 事前テスト(ほぼ全範囲) 講義:高齢者の特徴 講義:摂食嚥下の仕組みとその障害 ① 摂食嚥下の仕組みを説明できる。 ② 摂食嚥下の発達とその障害を説明できる。 ③ 加齢による摂食嚥下障害を説明できる。	予習	教科書B, P.1-23, 34-67, 135-149, 168-178を読んでおくこと				
		復習	高齢者の特徴の再確認				
		キーワード	加齢による変化(身体的, 知覚的, 心理的, 認知機能, 免疫機能) 摂食の5期、プロセスモデル、摂食嚥下機能獲得段階、摂食嚥下障害、間接訓練、窒息、誤嚥性肺炎、摂食スクリーニングテスト				
授業形態	講義	担当	○宮城, 山本, 小堀				

実施回	第2回	実施日	2026/04/20	時限	3	班	A班
授業計画	実習:高齢者疑似体験・車椅子の操作と移乗 ① 高齢者の機能低下について体験して理解する。 ② 車椅子の操作と移乗について習得する。 ③ ユニットへの移乗について習得する。	予習	教科書A, P12-24, 112-133を良く読んでおくこと				
		復習	高齢者は活動性が低下することを考察する。車椅子の名称と操作法について復習する				
		キーワード	高齢者疑似体験、車椅子、車椅子の名称(ティッピングバー、ハンドリム、フットサポート)				
授業形態	実習	担当	○小堀, 宮城				

実施回	第3回	実施日	2026/04/27	時限	3	班	A班
授業計画	実習:介護技術(体位変換、ベッド車椅子移乗) ① 体位変換技術について習得し、説明できる。 ② ドレナージについて習得し、説明できる。 ③ ベッド車椅子移乗について習得する。	予習	教科書A, P42-45, 64-78, 80-99, 102-133を良く読んでおくこと				
		復習	体位変換法について実際に復習すること				
		キーワード	基本姿勢、寝返り、起き上がり、体位(端坐位、半座位、ファーラ位、仰臥位、側臥位、腹臥位)、健側、麻痺側、体位変換				
授業形態	実習	担当	○看護教員, 山本, 宮城				

実施回	第4回	実施日	2026/05/18	時限	3	班	A班
授業計画	実習:バイタルサイン・モニタリング ① 脈拍数の測定法を習得し、説明できる。 ② 血圧の測定法を習得し、説明できる。 ③ 動脈血酸素飽和度(SpO ₂)について説明できる。	予習	教科書B, P108-111を良く読んでおくこと				
		復習	血圧、脈拍、動脈血酸素飽和度などについて再度確認する				
		キーワード	バイタルサイン、呼吸、体温、脈拍、血圧、触診法、聴診法、動脈血酸素飽和度、パルスオキシメーター				
授業形態	実習	担当	○今泉, 山本, 小堀, 宮城				

実施回	第5回	実施日	2026/05/25	時限	3	班	A班
授業計画	実習:嚥下調整食(介護食・配慮食) ① 嚥下調整食の必要性を理解し、説明できる。 ② 実際に嚥下調整食を調理し理解を深める。	予習	教科書B, P103-107を良く読んでおくこと				
		復習	実際に作った嚥下調整食について障害者や要介護高齢者に合っているか考察すること				
		キーワード	嚥下食ピラミッド、嚥下(調整)食、とろみ剤、食形態、初期食、ペースト食、押しつぶし食、咀嚼食、ゼリー食、まとまりペースト、ムース、まとまりマッシュ、軟菜				
授業形態	実習	担当	○服部(招聘講師), 山本, 小堀, 宮城				

実施回	第6回	実施日	2026/06/01	時限	3	班	A班
授業計画	実習:救急蘇生法 ① 一次救命法について習得し、説明できる。 ② AEDについて習得し、説明できる。 ③ 2次救命について説明できる。	予習	教科書B, P112-113を良く読んでおくこと。救急蘇生法について調べること				
		復習	一次救命法について考察する				
		キーワード	心肺蘇生法、胸骨圧迫、一次救命(BLS)、二次救命(ALS)、AED、CPR、ハイムリック法				
授業形態	実習	担当	○黒田, 片桐				

実施回	第7回	実施日	2026/06/08	時限	3	班	A班
授業計画	実習:摂食嚥下評価、車椅子上での口腔清掃 ① 摂食嚥下の評価法を習得し、説明できる。 ② 車椅子上での口腔清掃を習得し、説明できる。	予習	教科書B, P19-21, 150-193を良く読んでおくこと。				
		復習	評価法を確認する。安全で効果的な口腔清掃方法を考察する。				

		キーワード	RSST、MWST、FT、咳テスト、オーラルディアドコネシス、咀嚼機能検査、聖隷式嚥下質問用紙、EAT-10、口腔湿潤度、口腔健康管理
授業形態	実習	担当	○山本、宮城

実施回	第8回	実施日	2026/06/15	時限	3	班	A班
授業計画	実習：摂食嚥下リハビリテーション1)間接訓練 ① 間接訓練ついて習得し、説明できる。	予習	教科書B、P194-215を良く読んでおくこと。				
		復習	間接訓練法に何があるか考察する。				
		キーワード	脱感作、ハンゲード法、ガムラビング、嚥下体操、頭部挙上訓練(シャキア)、フローイング、アイスマッサージ、押し運動				
授業形態	実習	担当	○宮城、山本、小堀				

実施回	第9回	実施日	2026/07/05	時限	3	班	A班
授業計画	実習：摂食嚥下リハビリテーション2)直接訓練 ① 直接訓練ついて習得し、説明できる	予習	教科書 B、P194-201、216-226を良く読んでおくこと。				
		復習	直接訓練法に何があるか復習する。				
		キーワード	息こらえ嚥下、一側嚥下、横向き嚥下、うなずき嚥下、嚥下の意識化				
授業形態	実習	担当	○宮城、山本、小堀				

実施回	第10回	実施日	2026/07/23	時限	3	班	
授業計画	講義：ふりかえり、まとめ ① 摂食嚥下機能の復習 ② 練習試験要約 ③ まとめ	予習	教科書 Bおよび講義プリントを読んでおくこと。				
		復習	摂食嚥下機能について再度考察する。				
		キーワード					
授業形態	講義	担当	○水上(招聘講師)、宮城、山本、小堀				